

卒業生のみなさんへ

「たぐいなき自らを生きよ」

令和7年度卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。9年間の義務教育を終え、夢と希望に満ちた未来へ歩み出す皆さんの前途に心からの祝福とエールを送ります。

入学時、新しい制服に身を包み、期待と不安が入り混じった表情で校門をくぐった皆さんは、まだ与えられた学びを受け取る存在でした。義務教育は、ただ知識や技能を身につけるためのものではありません。人と関わることの大切さ、自分を律すること、そして社会の中で生きていくための基礎を築く大切な時間でした。3年間の中学校生活を通して、皆さんは大きく変わりました。授業、学校行事、部活動、そして仲間との生活を通して、与えられた学びから自ら学びとる人へと、確かな歩みを重ねてきました。人はそれぞれ違う速さ、違う形で成長します。今、他人にできて自分にできないことがあったとしても、「自分はだめだ」と決めつける必要はありません。「できないことがある」と「だめな人間」は同じではありません。それは「だめ」なのではなく、まだ成長の途中にいただけです。今の自分を否定し続けると前に進む力が弱くなっていきます。今の自分を好きになることが、未来の自分を育てる第一歩になります。これから先、どんな困難にぶつかろうとも、先生たちは「君なら大丈夫！今の自分を好きになれ！」とエールを送り続けます。皆さんも、その思いを受け取って未来に向かって進んでください。皆さんがこれから歩もうとする予測困難な時代では、「変化を恐れず、自ら考え、判断し、行動できる力」が求められます。正門近くの石碑に「いのち尊し、君すこやかに育つべし、たぐいなき自らを生きよ」と刻まれています。これは本校卒業生や地域の皆様の願いが込められたものです。赤い瓦の木造校舎で学んだ皆さんなら、自らに誇りをもって、人とつながりながら、きっと社会で活躍することでしょう。

令和8年3月

倉敷市立西中学校長